

千葉県社保協通信

2020年度—No21 2021年 4月 27日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

75歳以上 医療費窓口負担

2倍化 NO !! の声 さらに

22日、75歳以上の医療費窓口負担2倍化に反対する集会在衆議院第2議員会館内で開催されました。主催は、医療団体連絡会議、中央社会保障推進協議会、全日本年金者組合、日本高齢期運動連絡会です。

この日新たに署名129,913筆が提出され、累計で、100万3697筆となりました。(写真右上)

千葉県内からは、県保険医協会、年金者組合県本部の代表が集会に参加しました。

県社保協事務局は、YouTubeで視聴しました。

採決強行許さない!!

地元議員へのFax要請を強めよう

法案は23日(金)の委員会採決はされませんでした。与党は早期採決を繰り返し主張していますが、ひきつづき地元議員への要請を呼びかけます。

コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る

4.24 なんでも電話相談会

女性の困窮 浮き彫りに

「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも相談会」実行委員会による無料・全国いっせいで電話相談会が4月24日行われました。

千葉労連会場(12時~18時)には、12件(うち県外3件)の相談が寄せられました。(写真右)

▼職人の夫が脳梗塞で寝たきりに。使える給付金等は使ったが生活厳しい。(60代・女性) ▼市民会館で飲食店経営。会館がコロナで休館となり仕事がない。市や県や商工会にも相談したが対応してもらえない。(60代・女性) ▼解雇され友人宅に居候していたが今はネットカフェを転々としている。生活保護申請したが3回断られている。(60代・女性) ▼飲食店で働いていたが病気をして休職。回復後、復職を願い出たがコロナで仕事はないと言われ困っている。(30代・女性) ▼競馬場で酒類販売の自営業。コロナ禍で売り上げゼロに。協力金だけではやっていけない。従業員は休職してもらっている。(年齢不明・男性)などです。



千葉県選出

立憲民主党 6議員全員が紹介議員に

同日、県保険医協会は、昨年2月から取り組んでいる「医療・介護の負担増の中止を求める」請願署名を持って、県選出国會議員へ「75歳以上の医療費2割負担引き上げの撤回を求める」等得要請行動。訪問した議員のうち、宮川伸・谷田川元両議員(立憲民主党・衆議院議員)は秘書対応でしたが、あわせて1,317筆の署名を引き受けていただきました。すでに、小西洋之参議院議員、田島要・生方幸夫・奥野総一郎各衆議院議員が紹介議員となっており、県選出の立憲民主党所属議員6人全員が紹介議員になりました。

請願事項は、「すべての人が安心して医療と介護が受けられるよう、患者・利用者の負担軽減とともに①医療の患者負担を増やさないでください②介護の利用者負担を増やさないでください」です。(千葉県保険医協会 宮崎博幸)



矢澤純実行委員会事務局長は、「コロナ感染拡大の収束が見通せない中、解雇、雇いどめ、商売が立ちゆかないなど深刻な影響が広がっている。寄せられた12件の相談の内9件は女性。とりわけ女性たちの困窮が浮き彫りになった」「国と県に対して支援策のさらなる充実を求めたい」と話しました。